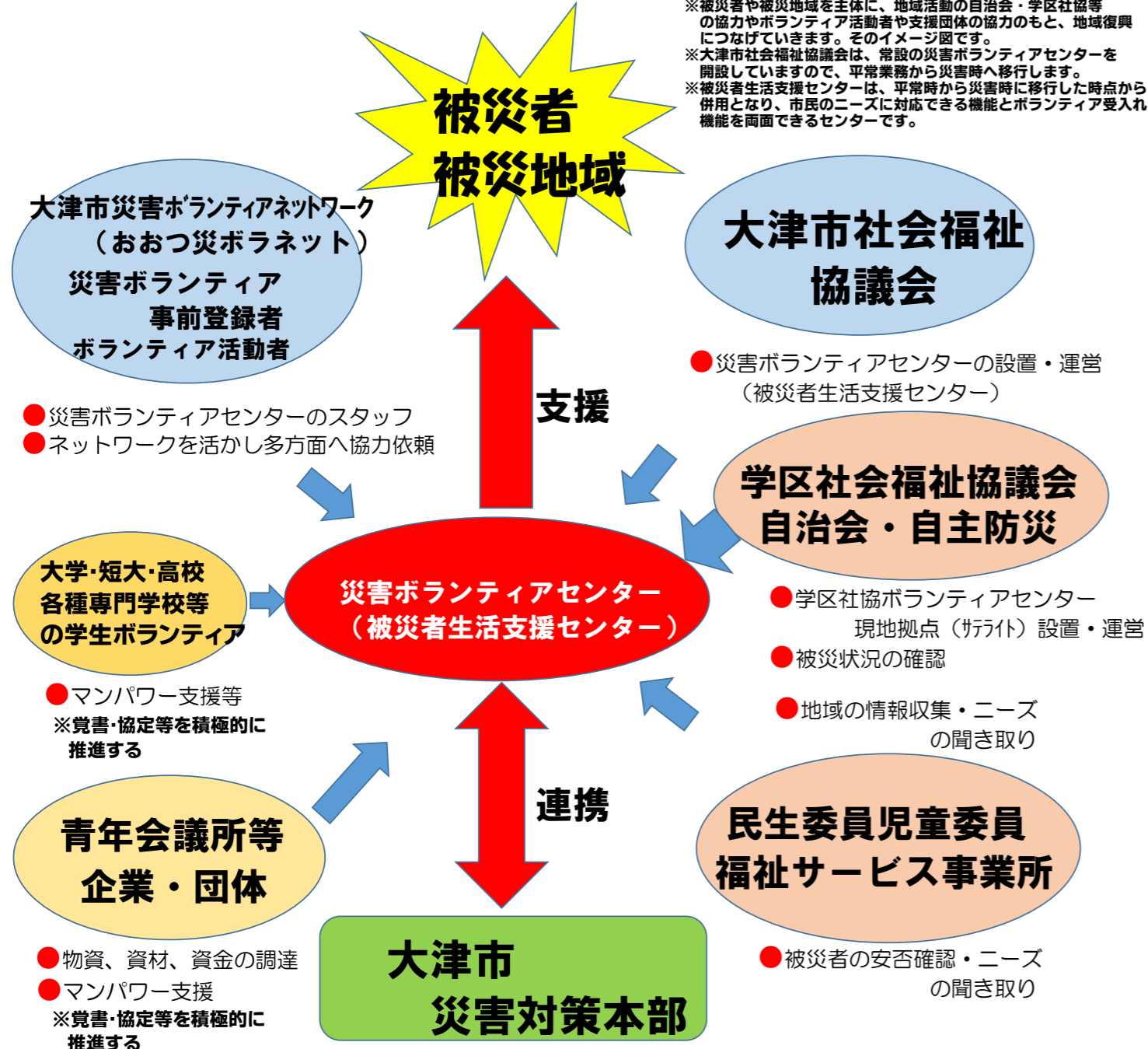


災害ボランティアセンター(被災者生活支援センター)の機能と役割

※被災者や被災地域を主体に、地域活動の自治会・学区社協等の協力やボランティア活動者や支援団体の協力のもと、地域復興につなげていきます。そのイメージ図です。
 ※大津市社会福祉協議会は、常設の災害ボランティアセンターを開設していますので、平常業務から災害時へ移行します。
 ※被災者生活支援センターは、平常時から災害時に移行した時点から併用となり、市民のニーズに対応できる機能とボランティア受入れ機能を両面できるセンターです。



大津市社会福祉協議会は 常設災害ボランティアセンター (被災者生活支援センター)を設置・運営しています。

災害時の避難者支援活動を円滑に進めるには、災害が起こっていない日常から大津市内で活動する各種団体と連携し、ネットワークを構築しておくことが不可欠です。このため、災害時だけでなく、平常時から活動する災害ボランティアセンターを設置して、災害時における被災者支援はもとより、平常時においても「災害に強いまちづくり」を目指すために常設型の災害ボランティアセンターを設置しています。

※ 大津市災害ボランティアセンターは災害時に移行した時点から、被災者生活支援センターと併設となり、市民のニーズに対応できる機能とボランティア受入れ対応機能を両面対応できるセンターです。



平常時の業務

- 災害ボランティア活動の調査・研究及び訓練の実施
- 災害ボランティア活動の広報・啓発
- 関係機関・団体や市民の意見・情報交換及びネットワーク体制の整備
- 災害ボランティアコーディネーターの育成
- 市内で相当規模の被害に至らない災害が発生した場合の対応
- 大津市外で発生した災害における情報発信や情報収集及び災害ボランティアセンターの支援ほか、必要と認められる行動

災害時の業務

- 災害ボランティアの募集、受入れ及びコーディネートの実施
- 被災状況及び必要な災害ボランティア活動の内容等の把握
- 災害ボランティア活動に必要な資機材等の調達
- 災害ボランティアの安全管理
- 関係機関や団体との連絡調整
- 被災者のニーズに対応するための被災者生活支援センターの
- その他必要と認められる活動



災害ボランティアとして登録しませんか？ ～個人登録・団体登録を募集しています～

近年、地震や風水害などの大災害が毎年のように全国各地で発生しています。大規模災害発生時には、被災者の自助努力や行政をはじめとする防災関係者だけでは対応することができないニーズが発生します。このニーズに対応するために様々な形でボランティアが被災地で活躍しています。



大津市社会福祉協議会では、市内若しくは近隣市町でこのような災害が発生した場合ボランティアが円滑かつ安心して活動できるように「災害ボランティア登録制度」を実施しています。

この制度は登録していただいた方々に災害ボランティアに関する知識や情報を提供するとともに、実際に災害ボランティアが必要になった時に迅速な対応ができるように事前にボランティア登録をするものです。

このリーフレットは、平常時から市内の地域各種団体やボランティア活動者、ボランティア団体や関係機関等皆さんに大津市社会福祉協議会災害ボランティアセンターについて知っていただくことで、災害時にスムーズな連携を図り、迅速な地域復興を行えるよう作成しています。

- ### 大津市社会福祉協議会 災害ボランティアセンター(被災者生活支援センター)の主な機能
- ①被災者・被災地のニーズ調査、ニーズ受付
 - ②ボランティア活動者の受付・ボランティア保険加入手続き
 - ③被災者・被災地ニーズへの活動者の調整(マッチング)
 - ④活動資機材・物資の調達及び管理
 - ⑤関係機関・関係団体との連絡・調整
 - ⑥活動情報の収集・発信・管理

社会福祉法人 大津市社会福祉協議会 災害ボランティアセンター (被災者生活支援センター)
 〒520-0047 大津市浜大津四丁目1番1号 (明日都浜大津5階)
 TEL 077-525-9316 FAX 077-521-0207 E-mail volunteer@otsu-shakyo.or.jp URL http://otsu-shakyo.or.jp

※災害ボランティア情報や支援情報等はホームページで公開しています。

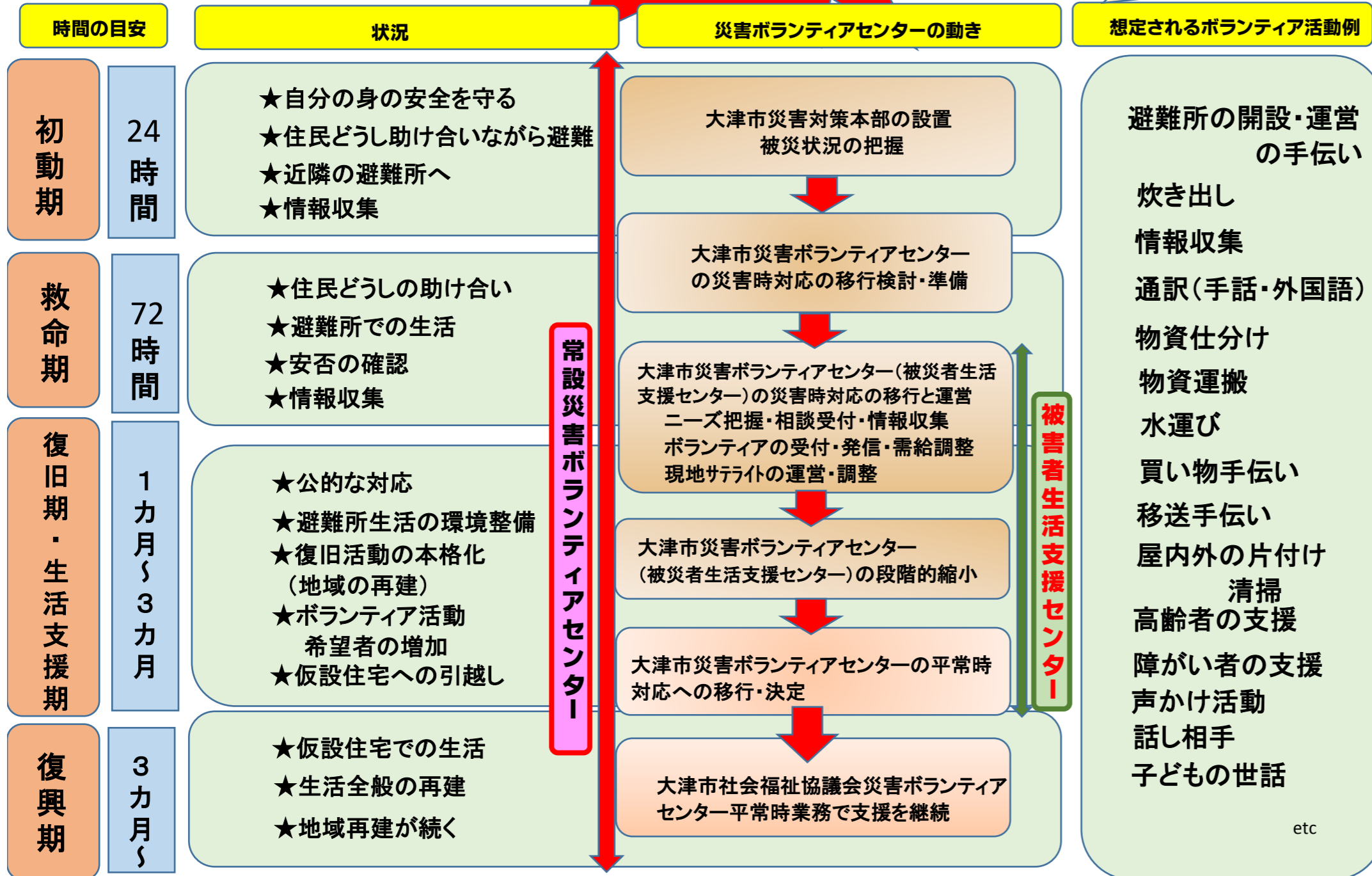
災害発生からの被災地の変化と災害ボランティアセンター(被災者生活支援センター)の動き

災害の規模や被災状況にもよりますが、被災地の状況変化と災害ボランティアセンター(被災者生活支援センター)の動きのイメージ図を作成しました。



日ごろから災害に備えましょう

- ① 家族で災害時の安否確認の方法や避難場所など話し合しましょう
- ② 非常持出品を準備しておく
- ③ 家具の転倒防止をする
- ④ 家族で「防災について」話し合う



平成25年18号台風時の災害ボランティアの活動



ボランティアスタッフのミーティング



オリエンテーションで注意事項を伝えます



災害ボランティアセンター設置訓練風景